

審議会会議録

1	会議の名称	令和6年度第4回富津市子ども・子育て会議
2	開催日時	令和6年12月9日(月) 午後1時30分～午後2時55分
3	開催場所	富津市役所5階 503・504会議室
4	審議等事項	議題 (1) 富津市こども計画(案)について (2) 金谷保育所の再配置に係る取組の見直しについて
5	出席者名	○出席委員 牧野千恵、齋藤みゆき、榎本有実、鈴木真志、 渡瀬栄一、宮原俊一、高林めぐみ、木村望、 今井常夫、オノミチ三由紀、棟方淳子、宗政朱利、 宮崎晴幸、川島壱朗 ○事務局 小野田健康福祉部長、吉原こども家庭課長、 網代こども家庭課長補佐、飛澤家庭相談係長、 鳥海主任主事、高橋主事、 田内保育課長、渡辺保育係長、國吉施設管理係長、 圓川健康づくり課主査
6	公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	
8	傍聴人数	3人(定員5人)
9	所管課	健康福祉部こども家庭課子育て支援係 電話 0439-80-1256
10	会議録(発言の内容)	別紙のとおり

令和6年度第4回富津市子ども・子育て会議 会議録

発言者	発言内容
<p>事務局 (高橋主事)</p>	<p>皆様、こんにちは。</p> <p>本日は、ご多用のところお集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>会議の進行を務めさせていただきます、健康福祉部こども家庭課の高橋と申します。よろしくお願いたします。</p> <p>開会に先立ちまして、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>本日机上には、会議次第、席次表、資料1「富津市こども計画(案)」の45ページ及び46ページの差替え、資料4「金谷保育所の再配置に係る取組の見直しについて」をお配りしております。</p> <p>また、事前に、資料1「富津市こども計画(案)」、資料2「グループディスカッションで出された意見と意見に対する市の考え方」、資料3「富津市こども計画(案)に係る修正内容等新旧対照表」をお送りしております。</p> <p>以上が本日の会議資料でございますが、お揃いでしょうか。</p> <p>続きまして、本日の委員の出席状況を報告させていただきます。</p> <p>15名の委員のうち、委員名簿4番の上原委員におかれましては、本日欠席のご連絡をいただいております。</p> <p>従いまして、14名の方が出席され、過半数を超えておりますので、富津市子ども・子育て会議設置条例第6条第2項の規定により、会議が成立しておりますことを、ご報告いたします。</p> <p>続きまして、会議の公開についてご説明いたします。</p> <p>富津市情報公開条例第23条の規定により、会議を公開することとなっております。なお、本日傍聴人は3名でございます。</p> <p>また、会議録作成のため、会議の内容を録音させていただきますので、ご了承くださいようお願いいたします。</p>

発言者	発言内容
<p>議長 (宮崎会長)</p> <p>事務局 (高橋主事)</p> <p>議長 (宮崎会長)</p>	<p>続きまして、ご発言の際の注意事項を申し上げます。ご発言の際は、恐れ入りますが挙手の上、議長からの指名後、係員がマイクをお持ちしますので、ご発言いただきますようお願いいたします。</p> <p>また、前回会議に引き続き、オブザーバーとして、計画策定業務を委託しております株式会社ぎょうせいの楠本様、國吉様が同席しておりますので、ご承知おきください。</p> <p><次第1 開会></p> <p>それでは、ただ今から、令和6年度第4回富津市子ども・子育て会議を開会いたします。</p> <p>はじめに、宮崎会長からご挨拶を頂戴したいと存じます。</p> <p><次第2 会長挨拶></p> <p>皆さん、こんにちは。</p> <p>前回のグループディスカッション大変お疲れ様でございました。また、本日は、お忙しい中ご参集いただきましてありがとうございます。</p> <p>本日は、前回のグループディスカッションを行った結果として、富津市こども計画（案）について、審議いたします。</p> <p>慎重審議のほどよろしくお願い申し上げます。会長の挨拶に代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ここからは、宮崎会長に議事の進行をお願いいたします。</p> <p><次第3 会議録署名人の指名></p> <p>それでは、議長を務めさせていただきます。</p>

発言者	発言内容
<p>事務局 (網代こども家庭課 長補佐)</p>	<p>議事に入る前に、本日の会議録署名人の指名を行います。 議長のほか、慣例により委員からお一人お願いしておりますので、今回は木村委員にお願いしたいと存じます。よろしく お願いいたします。</p> <p><次第4 議題(1)> それでは、次第4の議題に入ります。 議題1「富津市こども計画(案)について」を議題といた します。 事務局の説明を求めます。</p> <p>それでは議題(1)「富津市こども計画(案)」について ご説明申し上げます。 資料1「富津市こども計画(案)」をご覧ください。 今回お示しする案は、前回の子ども・子育て会議で実施し たグループディスカッションにて、委員の皆様から頂いたご 意見、また、庁内への意見照会の結果等を踏まえ、とりまと めたものでございます。</p> <p>また、第4章の「教育・保育の量の見込みと確保方策」に つきましても、数値が確定いたしましたので、その内容を記 載しております。</p> <p>ここで、大変恐れ入りますが、資料1「富津市こども計画 (案)」の45ページ、それから、裏面46ページにつつまし て、本日机上に配布いたしました資料「第4章 子ども・子 育て支援事業計画」に差替えをお願いしたいと思います。</p> <p>はじめに、「教育・保育提供区域の設定」及び前回の会議 におきまして、「数値精査中」としておりました「幼児期の 教育・保育の量の見込みと確保方策」につつまして、保育課 よりご説明いたします。</p>

発言者	発言内容
<p>事務局 (渡辺保育係長)</p>	<p>それでは、先ほど差替えをお願いいたしました 45 ページをご覧ください。</p> <p>教育・保育提供区域の設定につきましては、前回会議におきまして、富津地区・大佐和地区・天羽地区の 3 地区に区分する旨ご説明いたしましたが、本計画から、再度 3 地区に区分することとなった経緯をわかりやすくするため、より詳細に記載することといたしました。</p> <p>続きまして、47 ページをご覧ください。</p> <p>(3) 見込量の推計につきましては、計画素案から修正しております。第Ⅱ期計画期間中におきまして、国の示す推計方法を採用して見込量を算出したところ、実績値との乖離が大きかったことから、今回は、本市の過去の実績をベースとした推計方法を採用することといたしました。</p> <p>中段の「推計方法」の表をご覧ください</p> <p>表の左、推計項目 1 から順に 6 までの流れで見込量の推計を行っております。</p> <p>まず、子どもの人口を推計し、次に第Ⅱ期計画期間中の各事業の利用実績を把握、そこから利用率・変化率を算出します。次に、ニーズ調査結果からの利用意向等を踏まえた各年の利用率を算出しまして、推計人口に乗じることで、量の見込みを算出することといたしました。</p> <p>続きまして、48 ページをご覧ください。</p> <p>(4) 教育・保育提供区域別の幼児期の教育・保育の量の見込みと確保方策についてですが、見込量につきましては、より実態に即したものとするため、前述の推計方法による見込量に、特定の園への入園を希望し入園待ちをしている、いわゆる「保留」の状態である児童数の見込みを加え、算出しております。</p>

発言者	発言内容
<p>事務局 (網代こども家庭課 長補佐)</p>	<p>具体的には、令和4年度・5年度及び6年度の保留者の平均を保留見込者数としまして、富津地区の0歳児に6人、1歳児に1人、2歳児に2人、また大佐和地区の0歳児に1人を、令和7年度から11年度まで同数を見込んでおります。</p> <p>その結果、全ての区分で量の見込みに対し、不足の無い状況となっておりますが、富津地区の0歳児におきましては、見込量と確保方策が同数程度となる見通しとなっております。今後も保護者や各保育施設との利用調整を丁寧に行っていくとともに、保育人材の確保のため、処遇改善策等を推進し、適正な保育の実施を図ってまいります。</p> <p>続いて、資料2「グループディスカッションに係る意見の内容と意見に対する市の考え方」をご覧ください。</p> <p>こちらの資料につきましては、前回の子ども・子育て会議のグループディスカッション及び委員の皆様から頂いた意見や市の考え方についてまとめております。</p> <p>なお、グループディスカッションでいただいたご意見につきましては、関係各課へ周知をさせていただいております。</p> <p>資料の作りでございますけれども、前回の会議で頂いたご意見等を左から2列目に「意見の内容」として記載しております。その右の列には「意見種別」として、「計画全体への意見」、「未掲載施策の提案」、「掲載施策への意見」の3つに分類しております。それから、計画（案）における「掲載箇所」、「担当課」、「市の考え」、「計画（案）への反映」としてしております。いただいた意見を抜粋して、ご説明をさせていただきます。</p> <p>No. 3では、「貧困や第3子以降への支援で子育てしやすい町と言えるのか。もっと第1子の支援を強化すべきでは。」と、ご意見をいただいております。こちらに対する市の考え</p>

発言者	発言内容
	<p>は、「貧困や第3子以降のみならず、多くの子育て当事者を対象とした支援をニーズに沿って展開してまいります。また、現在、市では、計画書 92 ページ、5-14 にありますとおり、放課後児童クラブの保育料の補助の拡大を検討しております。今後も、子育てしやすいと思っただけのまちづくりを進めてまいります。」としております。</p> <p>次に、No. 8 では、「こどもがほしいと思ってもらうことが大切。そのような取組として、例えば、中学生の職場体験など、乳幼児と関わる機会を作るのはどうか」というご意見をいただいております。こちらに対する市の考えは、「中学校「家庭科」において、より良い家庭生活に向けて考え、工夫する活動に取り組んでいます。また、「道徳科」においても、生命尊重の態度を育成しております。実際の交流等を通して実感を伴った理解ができるように、体験が難しい場合は、視覚教材を利用したり、ロールプレイング等を行ってまいります。」としております。</p> <p>2 ページをご覧ください。</p> <p>グループディスカッションで特に多かったご意見が情報の周知についてのご意見でございました。こちらについての市の考えは、「情報周知の強化を図ってまいります。」としております。</p> <p>No. 22 では、「担当課にまかせるのではなく、こどもの意見を学校等で聞き、とりまとめて担当課へ伝える組織を作る。」それから、No. 23 では、「子どもの意見を直接聞く機会を設ける。」のご意見については、計画案 69 ページの No. 1-1「こども・若者、子育て当事者の意見を聴く体制の推進」についていただいたご意見でございます。こちらに対する市の考えは、「こどもの意見の聴取を、実際にどのように行うか検討してまいります。また、今回の計画策定にはアンケート調査を行</p>

発言者	発言内容
	<p>いしましたが、直接意見を聴く機会も大事と考えております。学校や地域と連携して、意見の聴取に努めてまいります。」としております。</p> <p>3ページをご覧ください。</p> <p>No.24では、「自己表現できない子どもたちが多いのでは。学校や組織で対応する必要があると思う。」というご意見をいただきました。こちらに対する市の考えは、「現行の学習指導要領、富津市学校教育の指針に基づき、「思考力・判断力・表現力」を養う教育活動を各校において実施しております。」としております。</p> <p>No.28では、「お金に関する教育、情報の教育が必要と思う。例えば、昨今の闇バイトとかのようなものに巻き込まれないように、また、そういったものに手を染めてしまうような状況にならないように、ネットへの関わり方等を勉強してもらったり、ソーシャルゲームの向き合い方やカードローン、リボ払い等の教育が必要だと思う。」というご意見をいただきました。こちらに対する市の考えは、「ネット社会と関わる力を身につけるために、タブレット端末の日常的な活用の中で、ネットリテラシー・情報リテラシーを身につける教育を実践しています。また、外部講師を招き、親子学習会をするなど、家庭を巻き込んだ実践を実施しています。金融教育についても、現行の指導要領に示されているため、各教科等とおして実施しております。」としております。</p> <p>また、このご意見を受けまして、計画（案）77ページ、1-50に施策名「情報教育の推進」の施策内容を修正しており、後ほど資料3にてご説明いたします。</p> <p>なお、ここで大変恐れ入りますが、資料の訂正をお願いしたいと思います。「素案への反映」の欄、「有 ※資料3 No.6のとおり反映。」という記載につきまして、No.7が正し</p>

発言者	発言内容
	<p>いので、お詫びして訂正をお願いいたします。</p> <p>4ページをご覧ください。</p> <p>No.32では、「5歳児健診の実施があるとよい。」というご意見をいただきました。こちらに対する市の考えは、「5歳児健診の目的を踏まえ、発達支援の実態状況の把握をし、多職種間の協議やフォローの体制整備が必要と考えております。」としております。</p> <p>No.33では、「就学前健診の実施があるとよい。」というご意見を受けまして、すでに実施している事業であることから、計画書(案)81ページ、2-15に施策名「就学时健康診断」を追加いたしました。</p> <p>なお、こちらにつきましても、大変恐れ入りますが、「素案への反映」の欄、「有 ※資料3 No.8のとおり反映。」という記載につきまして、No.9が正しいので、お詫びして訂正をお願いします。</p> <p>7ページをご覧ください。</p> <p>No.52では、「栄養士さんなど子どもに対して、どのような栄養が必要か見解をお持ちの方がいるのを活用して、栄養のある食事や惣菜、オートミールなどを保育所で販売することはできないか。子育てと働くことの両立で食事を作るのが大変なことから行ってくれると嬉しい。イオンさんなど周辺の商業施設等などと連携できればもっと広がるのではないか。」というご意見をいただきました。こちらに対する市の考えとしては、「今年度市内スーパー(イオン・ランドローム)と連携して、管理栄養士監修の健康的な弁当の開発・販売を通じて、減塩や野菜摂取の必要性を周知する取組「スーパーと連携した食生活改善事業」を実施しました。この取組を今後市内に広げていく予定のため、保育所へ情報提供することは可能だと思います。」としております。</p>

発言者	発言内容
	<p>8ページをご覧ください。</p> <p>No. 60「無気力なこどもが増えていると思う。もしかしたら、周りの大人たちが忙しくて疲れており、子どもの目標や夢の話などそういった話をする機会が減っているのではないかと思う。大人に対して気軽に相談できる場所を作る必要があると思う。重い悩みなどをもって、煮詰まってから相談に来るという方が多いのではないかと思うので、そこを解消する施策が必要かと思う。大人がいきいきしていることが大事だと思う。」というご意見をいただきました。</p> <p>また、関連しまして、No. 61「無気力なこどもが増えたのは、学力についていけないことなどを起因として、自分の夢や目標が持てなかったり、自己肯定感の低さに原因があると思う。そういったこどものフォローも必要だと思う。学校の先生、親にも相談できないけど、あそこに行けば誰かが話を聞いてくれるみたいな場所が必要だと思う。」というご意見をいただきました。</p> <p>これらに対する市の考え方は、「教職員と児童生徒が気軽に相談できる環境づくりのため、教職員の働き方改革を進め、こどもと向き合える時間を確保するとともに、SOSの出し方教育の推進を行います。また、教職員にも相談しづらい悩みをもつ児童生徒のため、学校内の担任以外の相談窓口（スクールカウンセラー等）の充実を図ります。」としております。</p> <p>抜粋してご説明させていただきました。その他のご意見につきましては、恐れ入りますが、資料にてご確認いただきますようお願いいたします。</p> <p>続きまして、資料3「富津市こども計画（案）に係る修正内容等 新旧対照表」をご覧ください。</p> <p>こちらは、グループディスカッションでいただいたご意見、</p>

発言者	発言内容
	<p>序内各課から意見から、計画の内容を追加・修正としたものの一覧でございます。左から、計画（案）の該当箇所、修正前、修正後となっております。</p> <p>No. 1、計画（案）10 ページ「(14) 待機児童数推移」につきまして、待機児童の定義を追記しております。</p> <p>No. 2、計画（案）11 ページ 「いじめの認知件数推移」につきましては、グラフを差し替えております。小学校におけるいじめ認知件数に誤りがあったため、修正しております。また、小中学生ともに、「児童生徒数に対する認知割合」を削除し、「いじめの解消件数」を追加しております。</p> <p>No. 3、同じく「いじめの認知件数推移」についてございますが、グラフの差替えに伴い、説明文章等を修正・追記しております。</p> <p>No. 4、計画（案）12 ページ 「不登校児童数推移」につきまして、資料元の修正と不登校児童数が増加傾向にあるその要因を追記しております。</p> <p>No. 5、計画（案）13 ページ 「2-2 将来人口の見通し」につきまして、ページ下半分の図 人口の将来展望（資料：富津市人口ビジョン 2040 に係る現状分析）を、「富津市人口ビジョン 2050」に係る現状分析のものへと差替えております。なお、差替えた図につきましては、「人口ビジョン 2050」素案からの引用であることから、後日変更となる場合がございます。</p> <p>No. 6、計画（案）74 ページ 1-36「在宅生活支援事業」につきましては、施策内容に「居宅訪問型児童発達支援」を追加いたしました。これに伴いまして、文頭の根拠法令に「児童福祉法」を追加しております。</p> <p>No. 7、計画（案）77 ページの 1-50 及び 84 ページ 3-3「情報教育の推進」につきましては、全文修正し、ICT アドバイザ</p>

発言者	発言内容
	<p>一等の活用、プログラミング学習、ネットリテラシー・情報リテラシーを身に付ける教育の実施、ネットとの適切な接し方の啓発を行う内容といたしました。</p> <p>No. 8、計画（案）80 ページ、2-3「妊婦歯科健康診査」につきましては、施策内容を妊婦歯科健康診査実施要綱を参考に、全文修正しております。</p> <p>No. 9、計画（案）81 ページ、「2 こどもの誕生前から幼児期における視点」、「2-1) 妊娠前から妊娠期、出産、幼児期までの切れ目のない保健・医療の確保」に施策を1つ追加しております。</p> <p>No. 2-15、施策項目名「就学時健康診断」、施策内容につきましては、記載のとおりでございます。</p> <p>No. 10、計画（案）84 ページ、「3 学童期・思春期における視点」、「3-1) こどもたちの自信を育む教育の土台作り」に施策を1つ追加しております。No. 3-1、施策項目名「学力の向上」、施策内容につきましては、記載のとおりでございます。</p> <p>No. 11、計画（案）86 ページ、3-21「児童・生徒歯科指導」については、施策内容に歯科衛生士と連携する旨を追記いたしました。</p> <p>No. 12、計画（案）91 ページの5-1「妊婦等包括相談支援事業」については、経済的負担の軽減のための施策であることをわかりやすくするために、施策項目を「妊婦のための支援給付」といたしました。</p> <p>また、記載したものの以外に誤字脱字等の軽微な修正も併せて行っております。</p> <p>以上で、富津こども計画（案）についての説明を終わらせていただきます。</p> <p>なお、本日委員の皆様にご審議いただき、計画案としてご</p>

発言者	発言内容
<p>議長 (宮崎会長)</p>	<p>了承をいただきましたら、市議会へ説明を行ったのち、12月18日(水)から翌年1月17日(金)までの約1か月間、パブリックコメントを実施する予定でございます。</p> <p>次回会議では、パブリックコメントで頂いたご意見と、それに対する市の考え方をお示しします。</p> <p>ご審議の程よろしくお願いいたします。</p> <p>事務局の説明が終わりました。</p> <p>ご意見、ご質疑等がございましたらお願いいたします。</p>
<p>高林委員</p>	<p>資料2のNo.10から18「情報の周知についての意見」に対する市の考えとして、「情報周知の強化を図ってまいります。」とありますが、前回のグループディスカッションのBグループの中で、情報難民という言葉が出ていました。情報が届かない、中々周知されないと考えたとき、広報ふつつに内容が多く書かれています。</p> <p>今回、広報ふつつ11月号に竹岡保育所を載せていただくことができ、そのようなことがあると、保護者が広報ふつつを手にする機会が多くなりますが、新聞を取っていない方も多く、広報ふつつが手元に届かないということがあったので、何部かいただきました。広報ふつつは、市のカウンターやスーパー、コンビニとかにも置いてありますが、せっかくあれだけの内容が書いてあるなら、例えば、保育所に置いておくとか、保育所で配布するとか、子育て世帯の手元に届くような方法もあるのではないかと思います。</p>
<p>議長 (宮崎会長)</p>	<p>他にございますか。</p>

発言者	発言内容
今井副会長	<p>まず、高林委員の意見と同じような感じですが、富津市こども計画を周知するにあたって、この表題でいいのかというところが一つあります。「こども計画って一体何」というところがあり、その辺を市民の皆さんに興味関心を持って見ていただくような、例えば、副題とかも必要なのかなと思います。</p> <p>先日、テレビで、流山市が「母になるなら、流山市」というタイトルで施策を行っている話を聞きました。そのように、富津市もこれだけしっかりした計画を立てていることを市民の皆さんにも知っていただき、利用していただくためには、そういう魅力的な表題も必要なのかなというのが一つあります。</p> <p>続いて、お願いなのですが、資料1の63ページの4-4(4)教育・保育に係る関係機関との連携に「幼児期の教育・保育と小学校教育との円滑な接続を図るための取組を推進します。」と書かれています。これは、国の施策としても取り上げられていますが、この施策について、具体的なものがないのですが、実際、現場の中ではそういう取組をしています。</p> <p>例えば、みなと幼稚園と中央保育所と竹岡保育所で小学校に入学する前の子どもたちが交流する機会を設けています。それから、青堀保育園と飯野保育所も同じような取組をやっていると聞きました。ここでネックになるのが交通手段です。生涯学習バスを利用させていただいていますが、生涯バスは利用頻度が高いので、例えば、富津市のスクールバスは小学校の行事に幼児が参加するときに利用できるようなことを聞いたことあるので、幼児期にそういう交流を図るときに、スクールバス等が利用できると、交流頻度や質が高まると思います。ぜひ、部署を横断した連携の中で、そういう施策を作</p>

発言者	発言内容
<p>議長 (宮崎会長)</p>	<p>っていただいて、こどもたちの交流の一助にさせていただけたらなということをお願いしたいと思います。</p> <p>他にございますか。</p>
<p>宗政委員</p>	<p>前回会議で1時間くらいグループディスカッションを行い、市の方は、それをまとめてくださるのも大変だったと思いますが、私が気になったのは、資料2に記載されている担当課の方は、子ども・子育て会議に同席していただいているのでしょうか。</p>
<p>事務局 (網代こども家庭課 長補佐)</p>	<p>子ども・子育て会議の事務局といたしましては、こども家庭課、保育課、健康づくり課、それから学校教育課が出席しています。</p> <p>他課にも関係する内容がございましたので、本来であれば、全ての関係する課に声かけをして出席を求めるべきところだったかもしれませんが、何分関係する課が非常に多いものですから、こちらの資料を持って共有させていただいているという形でご理解いただければと思います。</p>
<p>宗政委員</p>	<p>その理解が私にはできないので質問させていただきました。</p> <p>まず、紙面で回答いただいたのは良いと思うんですけども、この場で議論すると、もっと突っ込んだ内容の質問が出てきたりとか、この案そのものが変更しないといけない内容で議論が行われるかもしれない。それこそ、富津市の話をするときに、関係部署の方が出席していないということが理解できません。</p>

発言者	発言内容
	<p>例えば、資料2のNo.61「無気力なこどもが増えたのは、学力についていけないことなどを起因として、自分の夢や目標が持てなかったり、自己肯定感の低さに原因があると思う。そういったこどものフォローも必要だと思う。学校の先生、親にも相談できないけど、あそこに行けば誰かが話を聞いてくれるみたいな場所が必要だと思う。」という意見に対する市の考えとして、「教職員と児童生徒が気軽に相談できる環境づくりのため、教職員の働き方改革を進め、こどもと向き合える時間を確保するとともに、SOSの出し方教育の推進を行います。」云々とありますが、これは、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが配置されていることをわかっている上での意見なんです。つまり、今の施策では足りないから出ている意見に対して、今こういうことをしていますとか、考えていますというのは、回答として不足しているのではないかと思います。</p> <p>ましてや、こども家庭庁が誕生する前年に、厚生労働省が「こどもの居場所づくりに関する指針」を通達し、国がこどもや若者の居場所づくりをしなさいと言っています。もちろん、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの取組もずっと実施されていますが、足りないから、国が施策としてしなさいと言っていて、現場でも、そういう詳しいことはわからないけれど、単純な不登校だけに限らず、どうやら、今の学校で居場所がないこどもがいるのではないかとか、そういう意見が出てるときに、市の考え方が、果たしてどこまで真剣に、こどもや若者に対して、向き合おうとしているのかが、全体をとおして、私には見えてきません。</p> <p>前回会議の1時間のグループディスカッションは、とても有用なものだったと思っていますし、グループのメンバーを変えて実施されたら、違う意見が膨らんで出てくるのではな</p>

発言者	発言内容
<p>事務局 (吉原子ども家庭課長)</p>	<p>いかと期待しましたが、今回のやり方は、委員の意見を幅広く聞きましたというような事実を作ったというか、提示しているだけのように私は思います。</p> <p>立場もわきまえないような発言をして申し訳ありませんが、ぜひ、表面的なものではなくて、きちんと考えているんだというところで、具体的な今後の考えを示していただきたいと思います。</p> <p>それから、先ほど、今井副会長からお話にありました富津市子ども計画の計画名は、国が子ども計画を策定しなさいというところなので、そのままの計画名を使用していると思いますが、そこら辺も含めて、専門的な知識がない方々に、きちんと説明しないと。子ども・子育て会議自体も、国がしなさいと言っているの、各自治体が絶対的に置いてある会議でございますので、国の施策に基づいて単純にやるのではなくて、市民の代表として、少なくとも意見を汲み取っていくんだというところをお聞かせいただきたいなと思います。</p> <p>資料2のNo.60及び61に対するご質問ということですのでよろしいでしょうか。</p>
<p>宗政委員</p>	<p>資料2のNo.60及び61は、例として出しましたが、現にある施策がどうかではなく、それでも足りないと思うから出ている意見だと思います。</p> <p>先ほど、高林委員から情報の周知についての意見がありましたが、それを周知しますとか今やっていますではなく、足りないと思うから出ている現場の意見に対して、回答が不足しているといえますか、誠実性といえますか、見えてこない</p>

発言者	発言内容
<p>事務局 (吉原こども家庭課長)</p>	<p>なというのが私の感想です。</p> <p>例えば、No. 61 に関して、こども・若者の居場所づくりを進めなさいという指針が令和 5 年に出ていると思います。それに向けて、富津市が今までのスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置や学校の先生の働き方ではなく、こどもの立場に立った居場所づくりというものをどういうふうに考えているかということをご返答いただけたらと思います。</p> <p>まず、前回のグループディスカッションで皆様からいただいた意見に対する回答が紙面ということで、こちらの誠実さが足りないというところに関しましては、お詫び申し上げます。申し訳ありませんでした。事務局といたしましても、皆様からの意見に基づきまして、各所管課に照会し、各所管課の意見を皆様にお伝えしなければならないというところでありましたので、お伝えさせていただきたいと思います。</p> <p>宗政委員から、居場所づくりということでご意見いただいておりますけれども、資料 1 の 85 ページ 3-2 居場所づくりということで、市におきましても、こども・若者の居場所づくりというところが必要不可欠であるということは、認識しております。</p> <p>こちらにつきましては、例えば、児童館をつくるなどのハードな部分は、すぐに取り組むことはできませんけれども、今行っている事業を拡充していくなどして、こども・若者の居場所の確保に努めてまいりたいと思っております。</p> <p>具体的には、資料 1 の 60 ページ (12) 児童育成支援拠点事業につきましては、養育環境に問題を抱えております家庭や学校に居場所のないお子さんに対しての居場所となるような事業を 12 月から開始しております。少しずつではありますけ</p>

発言者	発言内容
宗政委員	<p>れども、着手しておりますので、ご理解いただきたいと思 います。</p> <p>事業の名前が羅列していると行政用語でわかりにくい ので、先ほど、「母になるなら、流山市」のようなスローガ ンの話がありましたが、富津市にもスローガンがあったよ うに記憶しております。そういうところも含めて、意見が出 たときに、行政用語ではない説明も必要だと思います。それ は、先ほど、高林委員から出たような情報弱者の方たちも 、難しい言葉だけで拒否反応を示す方たちはとても多い ですので、その一つ一つを真剣に取り組むことになるの かなというように思います。</p> <p>ぜひ、グループディスカッションが富津市こども計 画（案）を作成するためのもので終わらずに、こども計 画を策定しないときも、こどもの意見表明の機会も そうですが、実態に沿ったといいますか、市民の生活 実態がこどもの気持ちを重視するような形で考 えていただけたらなというふうに思 います。</p>
事務局 (吉原こども家庭課 長)	<p>大変、貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>今後、子ども・子育て会議や事業の進め方の参考 にさせていただきます。</p>
議長 (宮崎会長)	<p>他にございますか。</p> <p>特に無いようですので、ここで決を採りたいと思 います。</p> <p>富津市こども計画（案）について、事務局案のと おり、パブリックコメント案とすることに賛成の方 の挙手を求めます。</p> <p>(6名が挙手)</p>

発言者	発言内容
事務局 (國吉施設管理係長)	<p>賛成少数ですので、事務局で内容について精査していただくようお願いいたします。</p> <p><次第4 議題(2)></p> <p>続いて、議題(2)「金谷保育所の再配置に係る取組の見直しについて」を議題といたします。</p> <p>事務局の説明を求めます。</p> <p>それでは、議題(2)「金谷保育所の再配置に係る取組の見直しについて」ご説明いたします。</p> <p>現在、「富津市市立保育所再配置計画」に基づき、金谷保育所の再配置に取り組んでいるところですが、取組を進めるに当たり現在の計画における取組内容について見直しが必要となりました。本日に至るまで、金谷保育所の入所児童保護者及び金谷地区の区長との意見交換等を実施し、見直し後の取組方針等について取りまとめ、今般、入所児童保護者及び金谷地区の区長から合意が得られましたので、見直し後の取組方針等について、ご説明いたします。</p> <p>資料4「金谷保育所の再配置に係る取組の見直しについて」の1ページをご覧ください。</p> <p>はじめに、「1 見直しの趣旨」ですが、金谷保育所の再配置については、令和4年3月に策定した「富津市市立保育所再配置計画」において具体的な取組方針を示しているところですが、取組を進めるにあたり、現計画の定めに基づき、同保育所の入所児童保護者から意見聴取を行ったところ、現計画における取組内容と保護者が求める内容に乖離があったことから取組を見直し、適切な再配置を実施するものとなります。</p> <p>次に、「2 現計画における取組内容」ですが、現計画に</p>

発言者	発言内容
	<p>おける金谷保育所の再配置に係る取組内容は、以下の表のとおりとなります。こちら朗読しますが、『津波及び高潮の浸水想定エリア内に立地していること、木造園舎の老朽化、令和元年房総半島台風により施設に甚だしい被害が発生したことから、現在の立地・園舎での継続は困難である。入所児童が20人未満であり、発達に適した集団保育が困難なため廃止するが、新たに、送迎ステーション兼小規模保育所を設置し、3歳以上児は移管統合後の中央保育所へバス送迎、3歳未満児は小規模保育所において保育、施設の状況によっては小規模保育所の設置を前倒しし、3歳以上児は竹岡保育所へ集約し、さらには移管統合後の中央保育所へ集約の2段階で実施する必要がある。』となっています。なお、実施年度は、定められていません。</p> <p>次に、「3 入所児童保護者の意見」ですが、金谷保育所の再配置に係る入所児童保護者からの主な意見として、「小規模保育所を利用する意向はない。」、「再配置後に通所する保育所への送迎は、市で対応してほしい。」、「保育所の廃止は承知しているが、再配置の具体的な実施年度を示してほしい。」、「小規模保育所の設置に要する費用は、再配置後の保育所にかけてほしい。」との意見がございました。</p> <p>2ページをご覧ください。</p> <p>次に、「4 見直し後の取組方針」ですが、入所児童保護者からの意見を踏まえ、金谷保育所の再配置に係る取組方針を、次のとおり見直します。「①適正な入所児童数の確保が見込めないことから廃止する。」、「②小規模保育所は、設置しない。」、「③再配置後に通所する保育所への送迎方法は、入所児童保護者からの意見を踏まえ決定する。」</p> <p>なお、③についての進捗状況といたしましては、「スクールバスの活用」及び「金谷地区内の認可外保育施設の活用」</p>

発言者	発言内容
	<p>について、現在、入所児童保護者と検討しているところであり ります。</p> <p>次に、「5 再配置の実施年度」ですが、令和7年度末を もって金谷保育所を廃止することとしました。なお、卒園年 度が令和8年度以降となる、3歳児以下の保護者にも了解を 得ているところでございます。</p> <p>次に、「6 その他」ですが、こちらには参考事項として、 4点、記載しております。「(1) 令和6年12月1日現在 の金谷保育所における入所児童数の状況」ですけれども、児 童数は7名となっています。当面、同程度の入所児童数が続 くものと見込まれます。</p> <p>次に、「(2) 適正な入所児童数」ですけれども、こちら には、適正な入所児童数の基準を記載しています。「3歳以 上児については、各クラス最低5人程度」、「総入所児童数 については、最低20人程度」としています。この基準につ きましては、現に保育現場を担っている保育所職員からの実態 を踏まえた意見が重要であることから、全ての保育所長と一 緒に検討し、子どもたちの発達・成長にとって望ましい基準 として考えたものとなります。</p> <p>続いて、3ページをご覧ください。</p> <p>「(3) 金谷保育所の入所児童保護者等との説明・意見交 換会経緯」ですけれども、こちらには、本日に至るまでの説 明・意見交換会の実施経緯を記載しております。</p> <p>最後に、「(4) 今後のスケジュール」ですが、令和6年 度末までに送迎方法を決定し、令和7年度には保育所廃止に 向けた手続き・準備を行いまして、令和8年度に保育所廃止、 というスケジュールを進めていくことを予定しております。</p> <p>最後に、今回の資料には記載しておりませんが、現在、金 谷保育所以外の市立保育所においても、再配置について入所</p>

発言者	発言内容
議長 (宮崎会長)	<p>児童保護者と意見交換をしまして、取組内容の取りまとめを進めているところでございます。令和7年3月には、市立保育所全体の再配置について方針を示す予定としております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p> <p>事務局の説明が終わりました。</p> <p>ご意見、ご質疑等がございましたら、お願いいたします。</p>
齋藤委員	<p>スクールバスを活用するとなったときに、金谷地区のお子様は使うとして、その他の地区の方も使えるとかそういうところは具体的には決まっていますか。</p>
事務局 (國吉施設管理係長)	<p>今現在、金谷保育所の入所保護者とはスクールバスの活用について意見交換をしているところなんですけれども、他の地区に関しましては、今の現計画等についての説明を行っているところでございまして、今後そういった送迎方法等についての詳細を一緒に検討していくように考えているところでございます。なので、今現時点では、金谷保育所の入所保護者との意見交換の中でスクールバスの活用というご意見をいただいているというような状況でございます。</p>
議長 (宮崎会長)	<p><次第5 その他></p> <p>他にございますか。</p> <p>ないようでしたら、次第5、その他に移らせていただきます。</p> <p>皆様から何かございますか。</p>
事務局 (吉原こども家庭課)	<p>議題1の富津市こども計画(案)に戻ってしまいますがよろしいでしょうか。</p>

発言者	発言内容
長)	<p>富津市子ども計画（案）をパブリックコメント案とすることをご審議いただいたとき、反対された委員の皆様から、具体的にどのようなところを改善したほうが良いのかがわかれば、事務局としても大変ありがたいので、ご意見を頂戴したいと思いますが、お願いできますでしょうか。</p>
議長 (宮崎会長)	<p>私は、行政の考えについて、説明を聞いていますから理解していますが、そういう中において、寄り添う姿勢が感じられるような文言ではなかったと思います。そういうところを宗政委員や高林委員は心配されていると思いますので、まずは、文言の表記を修正していただくのが一番よろしいのかと思いました。</p> <p>また、委員の皆様におかれましても、私がお伝えした内容以外に、こういう形がいいのではないかというご意見がありましたら、この場で言うただけだと、事務局としては作業しやすくなります。それを考えて、ご意見がある方がいらっしゃいましたら教えていただけたらと思います。</p>
宗政委員	<p>私が先ほどお話したのは、一つの例ですが、こどもの居場所について、子ども家庭庁設立準備室が、富津市が実施したような子ども・若者の当事者に対するアンケートを行った結果は、お目通しかと思います。そのときに、こどもの居場所の要素に、こどもがいつでも1人で行ける場所やこどもを受け入れる大人の存在が必ずあること。つまり、児童公園みたいな場所の提供だけでなく、居場所というのは、そういうことも含めて13項目ぐらい内容があったと思います。</p> <p>例えば、前回会議のグループディスカッションで出された意見に対する市の考えが、そういうものを理解していて、こどもの居場所を考えているような回答に私は見えなかったの</p>

発言者	発言内容
<p data-bbox="215 1630 363 1727">議長 (宮崎会長)</p> <p data-bbox="215 1816 347 1850">榎本委員</p>	<p data-bbox="517 271 1054 304">で、意見を言わせていただきました。</p> <p data-bbox="517 331 1406 1357">事前に、資料1はお送りいただいておりますが、全体として、今、既にあるような事業を淡々と説明しているだけです。具体的に、これからどうしていくのかというような内容が見えてきません。言葉が適切ではないかもしれませんが、読む方とすると、私がここで子育てをしているときに、この計画書を見て、具体的な言葉ではないので、凄く魅力的とは思えません。あくまで計画書なので、お示しするときに、わかりやすくハンドブックにされるのも承知しています。こどもの居場所として、例えば、地域交流支援センター「カナリエ」とか、富津市の公立保育所が8ヶ所ある特徴を生かして、新しくお金もかかりますが、保育所に依頼し、保育所をこどもの居場所として、卒園してもいつでも来れるような、これは、現場としたら取組をされていますし、こどもが卒園しても保護者と繋がっているような実態はあると思います。ただ、その実態があるからではなく、その実態を示してくれないと、それを知らない方たちが大半ですので、実態を示した形にさせていただけたらなと思います。</p> <p data-bbox="517 1384 1406 1541">この場で全てにおいては難しいので、私は、2、3日お時間いただいて、メール等で資料等もつけながらお示しさせていただきますというふうに考えています。</p> <p data-bbox="549 1630 823 1664">他にございますか。</p> <p data-bbox="517 1816 1406 2029">先ほど、賛成の方に挙手しなかったんですけども、こういった計画を市の方でお出しになったときに、パブリックコメントってどの程度くるのかってところを教えてくださいたいです。</p>

発言者	発言内容
<p>事務局 (網代こども家庭課 長補佐)</p>	<p>前回、第Ⅱ期計画を策定したときにも、同様にパブリックコメントの手続きを実施しているところでございます。前回のパブリックコメントのときは、3人の方から、延べ12件の質問、ご意見があったと記憶してございます。今回につきましては、実際にやってみないと何人ぐらい来られるかというのは、読めないところはあるかなと思っております。</p>
<p>榎本委員</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>市民の子育て中の方から沢山パブリックコメントをいただけた方が、富津市がより良くなると思います。そういった中で、他の委員さんもおっしゃっているスローガンとかキャッチフレーズとか、文言について、皆さんがわかりやすいような内容の方が、市民の子育て中の方の意見を集めやすいのかなと思い、今回は、賛成に挙手しませんでした。</p> <p>ぜひ、キャッチフレーズやスローガン、文言をもう少し柔らかく、みんなが「この計画なんだろう」と、手に取りやすいようなものにしていただきたいなと思って意見させていただきました。</p>
<p>議長 (宮崎会長)</p>	<p>他にございますか。</p>
<p>木村委員</p>	<p>私も、賛成の方に挙手しませんでした。</p> <p>理由として、今年度、初めて子ども・子育て会議に参加させていただいて、今までもこういった取り組みをされていることも伺っていますし、実際に、市のホームページで、自分も勉強のために少し見ますが、ここまで皆さんが重くやっているんだなということを改めてここの現場で感じます。だから</p>

発言者	発言内容
	<p>らこそ、この計画は、本当にとっても重いものであって、私達大人は、老後とかですが、今通っている保育園のお子さんたちとか、10年後、5年後も富津市に住みたい、住んでるところということがあるんだよっていうことをやっぱり知ってもらうことが一番重要ではないかと思ったときに、この計画の中で何を優先してくれるのかという、先ほどの、スローガンみたいな中で、とても素晴らしいし、数値も正しいとは思いますが、こどもたちが減っていくことは目に見えていることであって、こどもたちに対してどうしていくのかという、富津市ってどんなことを未来像として、こんな富津市にしたいというところが計画の中からは、私は感じられませんでした。</p> <p>資料2の市の考えに「市民に周知を図ります」とか「推進していきます」などの文言がありました。できることはいつまでにやるのかとか、市民の方にパブリックコメントとして求めたときに、そういう意見が出てくるのではないかということと、大体想定できるコメントがあると思いますが、それに対しての回答とか改善などの準備はできているのかなっていうところ。ただコメントを待つだけではなくて、それに対していかに市民の方に迅速に回答して、計画を出したら、スピードでどんどんやっていかないと、市民の方は待たされてるだけであって、やはりそういったところが求められていくのではないかなと感じました。</p> <p>あとは、こういう計画とか、子育てに興味がある人は、こういったものにすぐクリックしたりとかして調べると思いますが、誰のために、どのように、子育てに興味がない人や悩んでる人に、いかに手に取っていただくかっていうことを私が優先した形で、もう少しわかりやすい文言だったり、具体的な記述だったり、詳細などをもう少し入れていただけたらいいかなと思ひ、今回は挙手を控えさせていただきました。</p>

発言者	発言内容
<p>議長 (宮崎会長)</p>	<p>他にございますか。</p>
<p>棟方委員</p>	<p>私も市役所の職員として課や部の皆さんと一緒に頑張ってきているし、皆さんが頑張っているのはすごくわかります。ただ、現場で預かっていて、こどもの成長を見ている立場とすると、例えば、資料2のNo.47の保育士増員のことに對する市の考えに書いてあることをやってくださっているとは思いますが、あまり変わらないかなと。小さなことでも具体的に出てきて、それでいくといいかなと思います。今のままだとこのまま同じような形で進めていってしまう不安があつて、この後、こども誰でも通園制度などが実施されるとなると、よりその問題が大きくなっていくというところで、こどもを取り巻く環境をどうやって、できる範囲でやっていくかという具体的なものが見えてこないの、手を挙げませんでした。</p>
<p>議長 (宮崎会長)</p>	<p>他にございますか。</p>
<p>今井委員</p>	<p>私は、例えばということで取り上げていただきたいと思えます。資料1の69ページ「1-2 社会を生き抜く力の育成」の先頭のNo.1-2に海外派遣交流事業があり、隔年で4名の中学生を派遣する事業ですが、これが先頭で良いのでしょうか。</p> <p>つまり、市全体として横断的に取り扱っている内容だから、その中で、こども・子育ての中の社会を生き抜く力の育成の最重点とは一体何なんのでしょうか。そういう捉え方の中で、順番も考えていただくマネジメントをぜひやっていただける</p>

発言者	発言内容
議長 (宮崎会長)	<p>とありがたいと思います。</p> <p>他にございますか。</p>
オノミチ委員	<p>日頃から、行政の方たちは、こういうものを作っていただくのは本当にご苦労があることを重々承知しておりますし、先ほど、棟方委員もおっしゃっていましたが、私も近いところでお仕事をさせてもらっているのです、本当にそのご苦労というところは凄くよくわかっています。</p> <p>子ども・子育て会議は、今回2度目の委員をさせていただいてるんですけども、どうしても国からこういうものを作りなさいって降りてきたものを必死になって皆さんが時間を割いて、自分の生きている時間をかけて、やってくださっていることは凄く重々承知しておりますが、先ほどおっしゃっていましたが、現場で子どもたちと関わっている方たちが、この計画を進めていって本当にこの市に住んで、要は、幸福感を得たりとか、そういうことに繋がっていくのかなっていうところは、少し間が離れてしまってるのかなっていうところはあります。ただ、計画を定めなくてはいけない期間があるかと思いますが、皆さんと一緒にもうちょっとやり取りを重ねられたらいいのかなというところと、あとは、例えば、市民の方にパブリックコメントを求めるときに、このような形で行くのではないかなと思いますが、実際、子育てをしている保護者の方たちは、これを見たときに、全然わからないものではないかなと私は思っています。なので、そこを市民の方が見て少しでもわかりやすいようなものになっていったらいいなという思いも一つあります。</p> <p>手を挙げなかったのは、凄く大事なところに関わらせてい</p>

発言者	発言内容
<p>議長 (宮崎会長)</p>	<p>ただいているということで、今の自分の半分半分の気持ちの中で手を挙げられなかったということでご了承いただければと思います。</p> <p>他にございますか。</p>
<p>渡瀬委員</p>	<p>皆様のご意見とか、伺っている中で、こういう計画を市民の方に身近なものにしないといけないと思いました。</p> <p>そういう中で思ったのが、子ども・子育て会議を市役所で本当にいいのかなと。例えば、小学校の空き教室とか、もっと開かれた場所でやるべきじゃないかと思いました。今回、傍聴で3名の方が来られていますが、こういう話は、もっと傍聴していただいてもいいと思います。市民の方に危機感を持っていただくには、そういうふうにするべきかと私は思います。</p> <p>私は、去年も委員をさせていただいていますが、去年よりも今年の方が意見が多く、それだけ皆さんも危機感があり、もしかしたら、皆さん以上に子育てされている方は、もっと危機感があるかもしれません。子ども・子育て会議を身近にするためには、一度、市役所から出て、イオンでも構いませんが、小学校や幼稚園などで、3回のうちの1回は開催することも検討していただきたいなと思います。</p>
<p>議長 (宮崎会長)</p>	<p>私からも一言申し添えます。</p> <p>反対の方は7名です。逆に、賛成の方は6名です。</p> <p>賛成の6名の方から今回、賛成なので意見は出ていませんが、その意見も踏まえた上で新たな修正を行っていただけたら幸いです。</p>

発言者	発言内容
<p>事務局 (吉原こども家庭課長)</p>	<p>富津市こども計画のパブリックコメント案の皆様へのご提示の方法なんですけれども、今日は12月9日で、今年も3週間を切ってしまっていますので、皆様にまたお集まりいただくのは厳しいのかなと考えています。ですので、事務局と会長で相談させていただきまして、皆様へのパブリックコメント案の提示の方法を書面にするのか、それとも会議体にするのかを決めさせていただいてもよろしいでしょうか。</p>
<p>議長 (宮崎会長)</p>	<p>事務局の方から提案がありました。 どうしても年内にということを見ると、この状況で今すぐ皆さんにいつ集まってくださいという明示はできません。そのことを踏まえ、私と事務局で、今回皆様からいただいたご意見により改善したものをお示しする方法について、打ち合わせをさせていただいてもよろしいでしょうか。それに関して、年明けになりますが、集まっていただくことになるのか、はたまた書面にて修正案の内容をお示しするのかを私と事務局で相談することにご一任いただいてもよろしいですか。 (反対意見なし)</p>
<p>宗政委員</p>	<p>パブリックコメントを市民の方に求めるとき、富津市こども計画だけをお示しするんですか。例えば、富津市子ども・子育て会議で、委員からこういう意見が出て、それに対する市の回答は、市民の方にお示しはしないんですか。</p>

発言者	発言内容
事務局 (吉原こども家庭課長)	<p>パブリックコメントにつきましては、この計画のみの公開になります。ただし、本日行いました第4回会議資料として、皆様のお手元にあります資料1から4については、市のホームページで公開いたします。</p>
宗政委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>市のホームページでの公開というと、先ほど、何度も情報にアクセスできない情報弱者の話が出てますけれども、具体的に、子ども・子育て会議があるとか、自分たちの子育てに関連して、こういうことが話し合われているということを知った上で、さらにアクセスすれば、ホームページで見れるというようなことをわからない方は、永久にこれを見ることができなくて、ここでどういうことをそれぞれの立場の人が、市民の目線で言ってるのかすらわからないと思います。</p> <p>私達はこういう行政用語を使っていませんので、おそらく、市民の方が見たときに、どちらの方が「そうそう。」と思うのかなというところも含めて、今後考えていただきたいなと思います。</p> <p>私個人の意見としては、せっかく今回1時間かけて、委員が色んな角度から出した意見でしたら、それに対して市が各課にまたがって真剣に出した答えであるならば、資料2も含めて提示されるのがいかがかなというふうに私は思います。</p>
議長 (宮崎会長)	<p><次第6 閉会></p> <p>他にありませんでしょうか。</p> <p>ないようでしたら、令和6年度第4回富津市子ども・子育て会議を閉会といたします。委員の皆様におかれましては、長時間にわたりありがとうございました。</p>